

教育羅針盤 ◆ 親子活動等について

(調査日 6/26～6/28 回答率 97.6%)

質問事項			① 親子活動 (6/23) は楽しかったか?			② 学習参観は好きか? ※親の参観は嬉しいか?		
			大変楽しかった	普通: とは思わない ※	特に楽しかった ※	大変好き ※	好きとも言えない ※	嫌い ※
学年	在籍	回答						
1年	32	32	32	0	0	29	3	0
2年	40	39	38	0	1	22	14	3
3年	35	35	28	6	0	13	18	4
4年	47	46	42	3	1	10	31	5
5年	42	39	37	2	0	10	16	13
6年	45	44	36	7	0	9	35	0
特支	5	5	3	2	0	4	1	0
全校	246	240	216	20	2	97	118	25
回答数に対する割合 (%)			90.8	8.4	0.8	40.4	49.2	10.4
			分母は 238 (当日の欠席 2)			分母は 240		

やはり「親子活動」は子どもたちにとって楽しかったようです。「学習参観」については子どもの見解が分かれます。嫌いな理由は大抵の場合、後で小言を言われるかららしいのです。保護者の皆さんには自宅での様子を振り返って頂ければ幸いです。

◆ リコーダー練習 (3年) 6/19



プロの指導を受けました

◆ プール開き 6/18



晴天の下で快適なプール開きでした

特活事始め ◆ 学級活動について(1)

特活の目標を指導要領で示されている4つの内容(学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事)で目指していくことになっていますが、本校が研究という立場から特に力をいれている学級活動について、今後に少し詳しくお伝えしていきます。

特活の目標そのものは指導要領で次のように記されています。少し長いのですが紹介します。

目標:「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。」

このように示した上で、さらに学級活動としての目標を「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。」と示しています。

本校ではどの学級も児童が真剣に話し合って学級の目標を設定しました。この後もよりよい生活づくりとして学級会を充実させながら、みんなが参画する望ましい態度を形成しつつあります。

◆ 消防署・警察署見学 (4年) 6/18



いろいろと体験させて頂きました

本校の特活研究にも若干ながら深まりを感じる。学級会で子どもたちが合意に向けて話し合いを進める際、焦点化のための論点整理に教師がどう関わればよいか悩みは尽きないが少し見え始めてきたようにも思う。ただ言えるのは、このように丁寧に学級会としての話し合いを繰り返せば、子どもたちが上手に話し合いに参加し、最終的な多数決決着をみても誰も不平を言わずに行事等を遂行するのである。まさに子どもの成長の姿である。同じ政党の中においてさえ合意出来ない何処かの政治家の皆さんに聞かせたい…。「決められない政治」からの脱却のためにも、将来を担う子どもたちに沢山の話し合いの経験を積ませることが大切だろうと思う。(土)